

発刊のことば

わが北会津村は、郡名を最後に独りで背負うて、荒館村と川南村を合併し、昭和三十一年五月に成立している。そのもとは旧中荒井組の荒館村と、旧橋爪組の大半を占める川南村である。荒館村はその数年前昭和二十八年四月に、荒井村と館の内村の合併によって成ったものである。

荒館村には、既に明治二十六年四月、組合組織をつくって荒井館の内小学校を設立している。いわば長い準備期間があつて、当然生れるべくして生れたといういきさつがある。

北会津村の成立には町村合併促進法という国家の施策・指導がはいっている。村の成立ちには伝統がある。会津若松市の主な市場圏にあるので、それとの合併が、経済確立の上によいではないかと考える人もあり、いくらかの談合があつたとも聞いている。純農村として、新鶴村との統合が適當であると思つた人もあつたようである。そして結局は、大川と宮川・鶴沼川には生まれた中州の地域として、土地の自然の成りたちの上に、この北会津村ができあがつた。まことに無理のない、結構な村ができたものと思つている。

しかしそこには、それぞれの伝統を背負つた村の生活があつた。中心的な都市をもたない村だけに、下荒井・中荒井、或は小松・上荒井などが、昔よりその中心的位置を占めてきたが、荒館村の公選村長に立